

東広島市テニス協会 競技規則

競技委員会

1. 目的

東広島市テニス協会(以下、本協会という)の主催並びに共催する大会を円滑に運営するためにこの競技規則を制定する。

この競技規則にないものは日本テニス協会のトーナメント諸規則に準ずることを原則とする。

2. 改正

この競技規則の改正は理事会の決議によって行われる。

但し、運営上特段の配慮を要する事項についてその必要性を競技委員会が認めたときは競技委員長が理事長に対し申立てを行い、暫定的にその事項を実施することができる。

3. 大会参加資格

- プレーヤーとしてのマナー及び義務を遵守し、セルフジャッジが正しく行える者とする。
- 本協会に登録している者とする。但し、オープンの大会はこの限りではない。
- 選手登録の受付期間は、当該年度の4月1日～30日及び7月1日～31日の年2回とする。但し、正当な事由がある場合はこの限りではない。

4. 大会エントリー

- 大会への申し込みは、大会毎に設定・公表されている締め切り日迄に所属団体・クラブの代表者を通じて所定の申し込み書及び手続きにより、当協会へ申し込む。
- 登録級以外への出場は上位級への出場を認める。
- 年齢規定の明記されている大会及び種目については、当該年の12月31日時点での満年齢をもってこれを行う。
- 締め切り日以降の大会参加の取り消しは、認めない。

5. 大会参加料

参加料は下記の金額を基準とするが、各大会の募集要項に定める金額とする。

- シングルス(1名) 一般/学生 2,500円 (非会員は**3,500円**) **ジュニア大会のみ1,500円**
- ダブルス (1組) 一般/学生 3,500円 (非会員を含むペアは**4,500円**)
- 団体戦 1チーム 9,000円

注) ダブルスにおいて、会員または学生会員が非会員とペアを組み出場する場合は、非会員の参加費を支払うものとし、学生会員が会員とペアを組み出場する場合は、一般会員の参加費を支払うものとする。

6. 組み合わせ(ドロー)

- ドロー作成ソフトにより事務局が作成する。
- 全ての大会はトーナメント方式を原則とするが、参加者数によりラウンドロビン(リーグ戦)方式等を採用する事がある。また、予選リーグ戦方式を採用する場合は全試合を本戦とみなす。
- シードの決定は後述⑤に規定するポイントシステムの集計結果に基づいて行う。
- ポイントシステム

1) ポイントシステムはシングルスとダブルス2種目に分類する。

対象大会	シングルス	ダブルス	備考
グリーンテニス大会		○	
広島オープン大会(男子)	○		
広島オープン大会(女子)		○	
市民テニス大会(ミックス)		○	規定の3分の1
夏季シングルス大会	○		
東広島選手権大会		○	
佐々木杯テニス大会		○	
教育長杯テニス大会	○		
ミックスダブルス大会		○	規定の3分の1
100歳大会		○	規定の3分の1
100歳ミックス大会		○	規定の3分の1
ウォークデイテニス大会		○	規定の3分の1

2) 大会のポイントは『ポイント表』の通りとする。

『ポイント表』

成績		シングルス	ダブルス	適用要件
本戦	優勝	15点	10点	
	2位	9(2)点	6(1)点	参加数9以上 (参加数5~8)
	3位	7点	5点	参加数17以上

ベスト4	6 (2) 点	4 (1) 点	参加数 17 以上	(参加数9～16)
ベスト8	3 (2) 点	2 (1) 点	参加数 33 以上	(参加数17～32)

- 3) ウィークデーテニス大会、男女混合種目及び年齢別種目については表の規定の3分の1(小数点以下切り捨て)とする。
- 4) 団体戦はポイントシステムの対象としない。
- 5) 対象者の登録級にて加算する。
- 6) 3年度分のトータルポイント制とする。
- 7) 年度初めに3年前のポイントをクリアする。
- ⑥ 申し込み締め切り時点で参加数が3未満の場合は、そのクラスは不成立とする。

7. 大会運営

本協会では、大会毎にディレクター、レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイア・運営委員を組織する。各業務の兼務は可とする。

A) ディレクターの業務

- ① 大会レフェリーがこの業務を兼務することができる。
- ② 本協会の事業計画に従い、大会開催に要する基本事項の決定を行う。
- ③ 大会に要する費用を管理する。
- ④ 開催に必要な物品等の調達を行う。
- ⑤ 大会要項の作成及び配布の指示を行う。
- ⑥ トーナメントの収支を明確にし、会計及び精算処理を行う。
- ⑦ 大会報告書を作成し、事務局に提出する。

B) レフェリー業務

- ① 大会レフェリーは、競技委員会が選任する。
有資格者が望ましいが、この限りではない。
- ② 大会レフェリーはロービングアンパイアを兼務することができる。
- ③ 競技を公正に運営するため、テニス規則、諸規程・諸規則等の執行についての責任を負う。
- ④ アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアと協力し、大会運営を行う。
必要があれば、運営担当者を手配する。
- ⑤ オーダーオブプレーを作成し発表する。
公式掲示板(ホワイトボード)に、大会インフォメーションと共に掲示する。
- ⑥ マッチのコール(選手の呼び出し)方法を発表する。
必要に応じ(日没や天候不順等)、試合の延期やコートの移動、照明の点灯を決定する。
その際には、可能な限り、当該セットにおけるゲーム数の合計が偶数になった時点若しくはセット終了時点で実施できるよう配慮する。
- ⑦ 大会運営中、止むを得ず会場を離れる時は、アシスタントレフェリーに代行を依頼する。
- ⑧ 事故及び怪我等の発生時には、救急箱およびAED等の使用も含め、迅速に対応する。
- ⑨ 選手の名前及び服装を確認する。
服装規定に違反する者があれば、着替えを要求する。

C) ロービングアンパイア業務

- ① レフェリーの指示に従い、大会を円滑に運営する。
- ② 試合コート(ネットの高さ及びシングルス・スティックの設置位置等)のチェックを行う。
- ③ 担当するコートを巡回する。
- ④ トラブル(カウントが分からなくなる等)発生時の解決にあたる。
自分が事実を把握していない限り、双方のプレイヤーにルールの助言を行い解決を図る。
- ⑤ 必要があれば、プレイヤーの判定をオーバールールすることができる。
但し、プレイヤーからのアピールによってオーバールールを行うことはできない。
- ⑥ セルフジャッジが正しく行われているかを確認し、不十分な場合は指導する。
コール(アウトやフォルト)が大きな声で行われ、同時に明確なハンドシグナル(人差し指を立てる等)により、ジャッジが対戦相手に分かるよう正確になされているかを監視する。また、サービスの前に、サーバーが対戦相手に聞こえる声でカウントをアナウンスしているか監視する。
- ⑦ フットフォルトをコールする。その際には、当該コートにて監視していなければならない。
- ⑧ マナーが悪い場合などには、その選手に注意をする。ラケットを投げつける、ボールを意図的に関係のない方向へ飛ばす、規定された時間内にプレーを開始しない、相手への失礼な言動や動作がみられる等、スポーツマンシップに反する行為を取った選手に警告を行う。
警告した選手の名前および行為をレフェリーに報告する。
- ⑨ 20秒及び90秒ルールに対する違反及び試合開始時刻への遅刻に対し、注意を行う。
選手がコートに現れない場合は、大会本部と連携して呼び出し等の対応を行うが、止むを得ない場合には、本規則12.③の規定を適用する。
- ⑩ トイレットブレイク、メディカルタイムアウトの要求があった際には、適切に対処する。
- ⑪ コーチングを監視する。

8. 服装

プレーヤーは次に定めるテニスウェアを着用しなければならない。

- ① 男子の場合シャツにショーツ、女子の場合ワンピースあるいはシャツにスカートまたはショーツとする。
- ② セーター、カーディガン、トレーナー、ベスト類を着て試合をしても良い。
- ③ 11月～3月迄の試合ではウオームアップ・スーツ等の着用を認める。
- ④ 男子45歳以上、女子40歳以上の年齢別種目では長ズボンの着用を認める。

9. 表彰

① 大会別表彰

協会主催並びに共催の大会における上位入賞者は表彰するものとし、下表にその内容を示す。
但し、金額及び賞品の内容については、収支状況等により変更する場合がある。

表彰内容見直し中のため、削除

10. 選手登録基準

① クラス区分

- 1) 男子：A級、B級、C級、D級
- 2) 女子：A級、B級、C級、D級

② 当協会の登録クラスは、下記の基準により決定する。

1) A級は下記のいずれかの条件に該当する者とする。

- ・ 自主的に登録する者。
- ・ B級に出場し、以下の成績を修めた者。

種 目		成 績	備 考
シングルス	男、女	ベスト2	参加数17以上の場合に適用する。
		優勝	参加数16以下の場合に適用する。
ダブルス	男、女	優勝	参加数16以下の場合は、同一年度内に複数回優勝した場合に限る。

- ・ A級のシングルスに出場し、本戦にて1勝以上の成績を修めた者。
- ・ (初期登録時に限り) 広島県内のテニス協会にA級で登録している者。
- ・ 大学、専門学校、短期大学などの体育会系運動部に所属するもので、テニス暦3年以上の者。
(登録後に条件を満たした場合も昇級対象とする)

2) B級は下記のいずれかの条件に該当する者とする。

- ・ 自主的に登録する者。
- ・ C級に出場し、以下の成績を修めた者。

種 目		成 績	備 考
シングルス	男、女	ベスト4	参加数33以上の場合に適用する。
		ベスト2	参加数17以上32以下の場合に適用する。
		優勝	参加数16以下の場合に適用する。
ダブルス	男、女	ベスト2	参加数17以上の場合に適用する。
		優勝	参加数16以下の場合に適用する。

- ・ B級のシングルスに出場し、本戦にて1勝以上の成績を修めた者。
- ・ (初期登録時に限り) 広島県内のテニス協会にB級で登録している者。
- ・ 大学、専門学校、短期大学などの体育会系運動部に所属するもので、テニス暦3年未満の者。
- ・ 高校などの体育会系運動部に所属するもので、テニス暦3年以上の者。
(登録後に条件を満たした場合も昇級対象とする)

3) C級は下記のいずれかの条件に該当する者とする。

- ・ 自主的に登録する者。
- ・ D級に出場し、以下の成績を修めた者。

種 目		成 績	備 考
シングルス	男、女	ベスト4	参加数33以上の場合に適用する。
		ベスト2	参加数17以上32以下の場合に適用する。
		優勝	参加数16以下の場合に適用する。
ダブルス	男、女	ベスト2	参加数17以上の場合に適用する。
		優勝	参加数16以下の場合に適用する。

- ・ C級のシングルスに出場し、本戦にて1勝以上の成績を修めた者。
- ・ (初期登録時に限り) 広島県内のテニス協会にC級で登録している者。
- ・ 高校などの体育会系運動部に所属するもので、テニス暦3年未満の者。
- ・ 中学などの体育会系運動部に所属するもので、テニス暦3年以上の者。
(登録後に条件を満たした場合も昇級対象とする)

- 4) D級は下記のいずれかの条件に該当する者とする。
- ・ A級、B級およびC級の登録基準に該当しない者。
 - ・ (初期登録時に限り) 広島県内のテニス協会に最下級で登録している者。
または、中学生以上で体育会系運動部に所属しない者若しくは社会人のうち、
県内のテニス協会主催大会でBest4以上の入賞経験がないか、県内のテニス協会主催大会
への出場経験が3年未満の何れかを満たす者。

1 1. クラスの昇級・降級

- ① 前項10. ②の規定に基づく昇級は次年度より適用する。
- ② 団体戦、男女または複数クラス混合種目及び年齢別の種目での成績については昇級対象外とする。
- ③ 降級は、連続する2年度の各大会に3大会以上出場し各大会の成績(コンソレを含む)が2勝未満の者の申請により、競技委員会が審査後承認する。但し、登録期間外の成績及び上位級での成績を基に申請することは出来ない。

1 2. 大会実施

- ① 出席の届け出は試合開始予定時刻の20分前迄に、試合の出来る服装で完了する。
- ② 本協会が主催する大会は、原則としてオーダーオブプレーにて運営する。
- ③ 試合のコールはオーダーオブプレーにより、自分の入るべきコートの前試合が終了した時をコールタイムとする。コールタイムに遅刻した場合は、下記の日本テニス協会のトーナメント諸規則のポイントペナルティーを適用する。
 - 1) 遅刻10分の場合、サーブ、エンドの選択権及び第一ゲームを失う。
 - 2) 遅刻15分の場合、失格とする。
- ④ トーナメント方式の試合は8ゲームプロセット方式(8-8タイブレーク)を原則とする。
- ⑤ ラウンドロビン(リーグ戦)方式の試合は1セットマッチ(6-6タイブレーク)を原則とする。
- ⑥ 指定大会でショートセット・ルールを採用することがある。
- ⑦ ウォームアップは、原則としてサーブ4本のみとする。
- ⑧ ラウンドロビン(リーグ戦)方式の順位決定方法は日本テニス協会のトーナメント規程を準用することとするが、それでも解決できない場合は抽選により順位を決定する。
- ⑩ セットボールについては特に当協会事務局の指示がない場合は原則として下表の単価で売却する。

使用サーフェス	売却単価(1球)
オムニコート	100円
クレートコート	
ハードコート	50円

- ⑪ コンソレーションマッチが予定されている大会では、対象者は参加の可否を大会本部に伝えること。

制定	2000年	2月	
全面改訂	2002年	3月	
改正1	2003年	1月	
改正2	2004年	2月	
改正3	2005年	2月	①選手登録基準(昇級規定)の見直し(同4月1日施行)
改正4	2006年	1月	①服装規定の見直し(同4月1日施行)
			②ラウンドロビン(リーグ戦)方式の順位決定方法の見直し(同)
改正5	2007年	2月	①選手登録期間の例外規定を追加(同4月1日施行)
			②服装規定の見直し(同)
			③表彰対象大会および昇級対象種目の見直し(同)
			④昇級対象外種目の追加(同)
			⑤ウォームアップ規定の見直し(同)
			⑥セットブレーク・ルールの削除(同)
改正6	2009年	2月	①2位表彰のために必要なエントリー数の見直し(同4月1日施行)
			②3位表彰対象の見直し(同)
改正7	2010年	3月	①ポイントシステムの見直し(同4月1日施行)
			②選手登録基準の見直し(同)
			③降級基準の見直し(同)
			④都市対抗予選の項目削除(代表選手選抜方式見直しによる)
改正8	2013年	3月	①ポイントシステムの見直し
			②選手登録基準(昇級規定)の見直し
			・継続登録者の昇級については、本協会での成績のみを反映する
			・本協会への初期登録時は、他協会から昇級した選手は昇級登録とする
改正9	2014年	2月	①大会参加料の見直し(同4月1日施行)
			②大会役員の追加及び役割の整理(同)
			③選手登録基準の見直し(同)
			④昇級及び降級規定の見直し(同)
改正10	2015年	3月	①大会参加料の見直し(同4月1日施行)
改正11	2016年	3月	①ポイントシステムの種目や大会を一部削除(同4月1日施行)
			②表彰内容の見直しのため、削除する